East Sussex College（イギリス・ルイス ※ロンドンから電車で 1 時間）
イーストサセックスカレッジ英語研修 ※公立カレッジ付属英語講座

FINNAIR JAL 航空券込プラン！









イギリスの公立カレッジの英語講座
小さなヴィレッジタウンで、じっくり学ぶ！

ロンドンから列車で 1 時間。鉄道駅から急勾配の坂道をのぼると、町全体を見渡せる石の古城に辿り着きます
950 年前の古城跡、絵葉書から抜け出たようなかわいらしい街並み、アンティークショップ… etc.
英国らしい小さな地方都市ならではの魅力がいっぱいの町ルイス。地元っ子になった気分で暮らしてみましょう
East Sussex College の英語講座は、British Council の監査でも高評価。学びの体験も充実

「本当の英国」に出会う 小さな町「ルイス」

East Sussex College はイングランド南東部、イーストサセックス州にある公立のカレッジです。ブライトンから電車で約 15 分の古都ルイスの他、海辺の町イーストボーンとヘイスティングスにもキャンパスを構えています。ルイスはこじんまりとした歴史の町として知られ、治安が良く、物価も比較的安く、留学生にとっては暮らしやすさが魅力です。3 つのキャンパスには、地元のイギリス人学生約 5600 名が様々な専門スキルや、大学進学のための A レベル科目などを学んでいます。ルイスキャンパスの留学生は約 100 ～ 150 名。英語講座には平均 50 ～ 80 名が在籍しています。ルイスは、ロンドンから電車で 1 時間、週末には気軽にロンドン観光も楽しめます。

全英でも評価の高い英語講座 お手頃の留学費用にも注目！

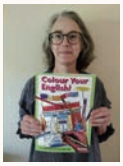
イギリスの政府機関ブリティッシュカウンシルは、英語講座を実施する全英の語学学校・カレッジ・大学に対して品質管理のための監査制度を設けています。経験を積んだ審査官が定期的に訪問し、運営・教育・教師・設備・宿泊などのさまざまな面から調査をし、学校毎に詳細な評価を与えています。英語教育情報誌 EL Gazette は全英約 350 の認定校の中からブリティッシュカウンシルによる評価の上位校に対して “Centre of Excellence” の名称を与え、学校評価の目安の一つとてしています。East Sussex College は公立カレッジの英語講座の中で、毎年高い評価を得ています。

Top Teacher.....

公立の英語講座で、高い評価。
その背景には、優秀な講師陣の存在が…。

Stephanie Hirschman

East Sussex College のシニアティーチャー。教員のスキル向上や新しい教授法の開発に取り組んでおり、ネイティブスピーカーに親しまれているゲームを、英語授業に取り入れた教授法が、「English Teaching Professional」 で紹介されました。ステファニー先生の教授法では、単語をなめらかに繋ぎ、話者も聞き手も自然な英語を使うことを目指しています。教員向けの Macmillan 社の Web サイトで、ステファニー先生の教授法が月間最多の閲覧数を獲得したことも。プロの教師にとっても、注目の先生のようです。







週 21 時間授業の「English Plus コース」

基本は週 21 時間、フルタイムで学ぶ「English Plus コース」。週 15 時間の基礎英語に、オプション科目（Plus 科目）を 6 時間をプラスして学びます。オプション科目（Plus 科目）は英語レベル、受講希望者数によって、現地で決まります。英語講座は全体の人数があまり多くないため、日本の大学の長期休暇となる 2 ～ 3 月は日本人学生の割合が多くなる傾向があります。

English Language Plus 21
※週 21 時間授業

General English

Grammar and vocabulary
Speaking, Listening,
Reading, Writing, Tutorial

Sample Options

Business, Art and Design
English through Film, Travel and Tourism
Academic English with IELTS
Additional English (3-6 hours)
Exam Preparation (ELTS, CAE, FCE) etc.

※オプション科目（Plus 科目）は時期によって内容が変わることがあります。科目ごとに対象の英語レベルが設定されています。受講人数が少ない科目は実施されない場合もあります。





二つの宿泊プランを提供 寮滞在とホームステイ

■寮滞在 ※ 1 人部屋・シャワートイレ付

キャンパス内にある、設備の整った寮滞在です。全て一人部屋で、各室にシャワー・トイレが備わっています。6 ～ 7 室ごとに共有のキッチンがあり、自炊ができます。寮滞在は人気があるため、早めの申込みがおすすめです。


キャンパスに隣接する学生寮


寮の周辺で、ウサギやリスに遭遇することも！


1 人部屋、シャワートイレ付


共同キッチン

■ホームステイ

ホームステイ先では一人部屋と 2 食の食事が提供されます。1 家庭に、日本人を含む複数の学生が滞在する場合があります。

※注意：ルイスはホームステイの数が大変少ないため、状況によって、お申込み後に寮滞在プランにご変更いただくことがあります。その場合寮滞在料金が適用になります。予めご了承ください。



■ 日程・旅行代金（2027 年）

East Sussex College 英語研修

		出発日 → 帰国日	期間	旅行代金
寮滞在	A	2/ 6（土）➡ 2/28（日）	23 日間	598,000 円
	B	2/20（土）➡ 3/14（日）	23 日間	608,000 円
	C	2/13（土）➡ 3/15（月）	31 日間	758,000 円
ホームステイ	A	2/ 6（土）➡ 2/28（日）	23 日間	668,000 円
	B	2/20（土）➡ 3/14（日）	23 日間	678,000 円
	C	2/13（土）➡ 3/15（月）	31 日間	838,000 円

Ⓐ Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ Ⓑ日程（23 日間 ※ 3 週間）※フィンランド航空利用	Ⓒ日程（31 日間 ※ 4 週間）※日本航空利用
1	1	夜：東京（羽田）発。途中、ヘルシンキ乗継、ロンドンへ。≪機中泊≫	深夜（日付は翌日）：東京（羽田）発。直行便でロンドンへ。≪機中泊≫
2	2	午前：ロンドンヒースロー空港到着。出迎えを受け、専用車にて滞在先へ。≪寮 / ホームステイ滞在≫	朝：ロンドンヒースロー空到着。出迎えを受け、専用車にて滞在先へ。≪寮 / ホームステイ滞在≫
3 ▼ 21	3 ▼ 29	【英語研修】 ■授業は週 21 時間。1 クラス最大 20 名、平均約 14 名。 対象の英語レベル：A2 以上 ■週 15 時間の基礎英語に加えて、オプション科目（Plus 科目）から選択して 6 時間、合計 21 時間学びます。 ※オプション科目（Plus 科目）は英語のレベル、受講人数などにより現地で決定します。 ■放課後はカレッジが企画・紹介する課外活動に任意で参加、またはフリー。 ■土・日曜日は終日フリー。近郊のブライトンやロンドンへの訪問など、イギリスの見所への小旅行を楽しみましょう。≪寮 / ホームステイ滞在≫	
22	30	朝：専用車でロンドンヒースロー空港へ。各自でチェックイン。 午前：ロンドン発、途中ヘルシンキ乗継、空路東京へ。≪機中泊≫	早朝：専用車でロンドンヒースロー空港へ。各自でチェックイン。 午前：ロンドン発、直行便にて、空路東京へ。≪機中泊≫
23	31	午後：東京（成田 / 羽田）着。	朝：東京（羽田）着。

■最小催行人数：6 名
■添乗員：なし。現地スタッフがお世話します。
■利用予定航空会社：Ⓐ Ⓑ日程：フィンランド航空　Ⓒ日程：日本航空

【旅行代金に含まれるもの】
●旅行日程に明示したエコノミークラスの航空運賃 ●到着時・帰国時のロンドンヒースロー空港～滞在先間の往復送迎費 ●旅行日程に明示した授業料 ●寮滞在費（1 人部屋・シャワートイレ付・自炊）、またはホームステイ滞在費（1 人部屋・2 食付）● 無料で参加できる課外活動費 ● 24 時間日本語ホットライン登録料

【旅行代金に含まれないもの】上記以外の全ての費用。その一部を例示します。
●羽田空港施設使用料（2,950 円）●国際観光旅客税 (3,000 円) ●海外空港諸税（34,800 円）●燃油サーチャージ & 航空保険料（11/1 現在の目安：125,200 円～140,000 円※ 12 月下旬に確定の予定）※上記は旅行代金と一緒にお支払い下さい。
●教材費 ●超過手荷物料金 ●渡航諸手続費用 ●現地での個人的諸費用 ●有料で参加する課外活動費 ●寮滞在は朝昼夕食の食費、ホームステイは毎日の昼食代と通学交通費 ●電子渡航認証 ETA 申請料 £20 ●海外旅行保険費用※ ●現地での個人的諸費用 ※このプログラムは海外旅行保険への加入が必須となります。

※このコースは、宿泊が大変混み合うため、早目のお申込みをおすすめします。

Lewes の街歩き！

South Downs
風が吹き抜ける丘の町

イーストサセックス州は、サウスダウンズと呼ばれる石灰岩を含むなだらかな丘陵地帯にあります。ルイスもダウンズに広がる丘の町。坂の登り下りはありますが、町のそこここから、緑の丘や白亜の崖といった風光明媚で何とも清々しい風景が楽しめます。



Battle of Lewes
兵どもが夢の跡…

ウィリアム征服王の臣下ウィリアム・ドゥ・ウォーレンによりルイス城が建てられたのは今から遡ること 950 年前。城塞からはルイースの町と周辺に広がる美しい丘陵が見渡せます。ここは 13 世紀に勃発した第二次バロン戦争時の「Battle of Lewes」でも有名な土地。休日は史跡巡りの観光客も訪れます。現在は緑が広がるのどかな古戦場跡です。



Second hand shops
アンティーク好きにはたまらない！

ルイスの目抜き通りには、都会ではお目にかかれないユニークなお店やグッズが並びます。築 600 年を越える 15 世紀の建物に店を構える本屋さん “the fifteenth century”。ここは児童書や挿絵入りの本を多く取り扱う古書店。頭を屈めて入る店内には、古本の匂いとともに何ともメルヘンな空間が広がっています。


古書店 “the fifteen century”

Lewes FC
英国フットボールの原風景


Lewes FC

サッカーファンの昨今の話題は青天井になる選手の移籍金。でもイングランド 7 部相当のアマチュアリーグ所属のこの町のチーム “ルイスＦＣ” はその話題と対極に位置します。2008 年の財政危機以来、ファンが出資して経営権を保有し、地元コミュニティのために相互利益を生むクラブ運営に舵を切ったのです。現在は約 1200 人のオーナーが存在します。人と関わり力を合わせて良いものを維持し続ける事が、いかに人生と社会を豊かにする大切なことか。イギリス社会の魅力が垣間見える話題です。

Guy Fawkes Night
歴史を伝える火祭り



1605 年カトリック教徒の過激派によるテロ未遂事件がロンドンで発生。以来 11 月初旬に平和を願って花火を打ち上げたり、実行犯の一人であるガイ・フォークスを模した藁人形を燃やしたりする習慣が、イギリス各地に定着しました。ルイースのガイ・フォークス・ナイトは英国内で最大規模として知られています。